2018-19 53th

Rotary 東京城東ロータリークラブ クラブ週報

会長テーマ　若井一郎

2019. 3. 25　第2457回例会

「親睦と友情を見つけ 楽しいクラブに」

国際ロータリー会長
バリー・ラシン

第2580地区ガバナー
松坂順一

第2580地区幹事
今井　忠

(当クラブ担当)
ガバナー補佐：江川　勝
東分区幹事：石渡嘉郎

インスピレーションになろう

例会日：毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場：東武ホテルレバント東京
〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2　Tel:03-5611-5511

事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-5-5 A ビル
Tel:03-5637-4605　Fax:03-5637-4611
E-mail : jyoto@club.email.ne.jp

会長：若井　一郎　　副会長：秋山恭一郎
幹事：根本　弘道　　副幹事：今井　邦彦
会報委員長：村上 愼吾

2019/3/18(月)
「創立53周年記念夜間例会」

ニコニコボックス

○創立 53 周年おめでとうございます。

ご出席の皆様より

小計￥101,000.-　累計￥1,660,000.-

- 来月4月の受付当番 -
田島君/秦君/宮﨑君/村上君/山口君

※次週 4/1（月）は、例会場都合により休会のため例会はございません。

2019年3月18日 例会報告

点　鐘	
ロータリーソング	『我等の生業』
ゲストスピーカー	1名
ゲスト及びビジター	2名
会員出席状況	43名35中名(出席率81.40%)
前々回訂正出席率	100%

本日の卓話

「　当面の市況見通し　」

みずほ証券シニアテクニカルアナリスト
中島 三養子 氏

次回の卓話 (4/8)

「　税制改正のあらまし　」

今 井 邦 彦　会員

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

R I ニュース：2019. 1. 15

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

ロータリークラブがブラジル全国でポリオとはしかの予防接種を支援

昨年、ブラジル衛生当局は、ポリオ予防接種率の急激な低下を報告しました。これは、ポリオの大流行の危険をもたらしかねません。これを食い止めようと行動を起こしたのが、ブラジルのロータリークラブです。2 カ月間におよぶ大規模な予防接種キャンペーンにより、ブラジルの 1100 万人以上の子どもが予防接種を受け、接種率の急激な低下に歯止めがかかりました。

ブラジル政府によると、国内の 300 以上の市町村で、インフルエンザ、はしか、ポリオの予防接種率が低下しており、保健省はこれを「非常に深刻な状況」と警告していました。国内でははしかが大流行し、最終的に 1,500 人以上が罹患したことから、保健当局はポリオウイルスの再発生も懸念していました。そこで、少なくとも 1 歳から 5 歳までの子どもの 95 パーセントに予防接種を行うことを目標に、8 月 6 日～ 9 月 28 日にかけてブラジル全国で大規模な予防接種キャンペーンが実施されました。

はしかの症例は、北部州に集中して発生しました。ここには経済的・政治的な苦境から逃れて何千人ものベネズエラ難民が国境を越えてやって来ます。ベネズエラの保健制度は危機的状態にあり、難民の多くは予防接種を受けていませんでした。

ロータリーのポリオ撲滅活動で地域コーディネーターを務めるマルセロ・ハイックさんは、「ブラジルのロータリーリーダーは、ポリオウイルスが再発生する可能性を非常に恐れていました」と振り返ります。ロータリーのリーダーは、まひを起こさせる病気の危険から何百万人もの子どもを救うため、予防接種を行う保健ワーカーを支援しようと立ち上がりました。

キャンペーン中、1100 万人以上の子どもが予防接種を受け、世界保健機関の推奨に応じて、子どもの 95 パーセントに予防接種をするという政府の目標が達成されました。ハイックさんによると、国内のすべてのロータリークラブが何らかの形でこのキャンペーンに参加しました。

クラブと地区が予防接種について人びとに知らせ、多数のクラブがパンフレットを作成し、それを学校や人通りの多い交差点などで配りました。

またキャンペーンは、他の方法でも伝えられています。

・バイク愛好家のロータリアン親睦活動グループは､バイクに「End Polio Now」のバナーを付けて、サンパウロのジュンディアイ市内を走りました。

・数十のクラブがポリオ撲滅のための予防接種行事を実施。また、保健ワーカーたちによる子どもへの経口ポリオワクチンの投与も行われました。

・主要な高速道路の脇に、照明付きの看板を設置したクラブもありました。

・第 4670 地区のクラブ会員は、主要なサッカー試合の休憩時間中に競技場に出て、大きな「End Polio Now」バナーを掲げました。国内のほかのクラブも、競輪やマラソンなどのスポーツ行事を利用して、予防接種について伝えました。

・ハイックさんとその他のポリオ撲滅コーディネーターは、予防接種センターへの支援のほか、地元の政治家やセンターで働く保健ワーカーに連絡を取るようクラブに呼びかけました。

・フェイスブックやソーシャルメディアに広告を掲載し、情報を伝えたクラブもありました。

・大きな社会・文化行事や、リスクの高い地域で、予防接種キャンペーンについて伝えるトラックを走らせた地区やクラブもありました。

もう一人のポリオ撲滅コーディネーター、ペドロ・ドゥランさんは、「ロータリーのキャンペーンは広く知れ渡りました」と話します。「皆が支援に立ち上がったのです」とドゥランさん。「ブラジル全国のクラブと地区が参加したことを嬉しく思います。私は 1991 年にロータリアンになりましたが、これほどの熱意を目にしたのは初めてです」

ブラジルのロータリーリーダーは、今回の活動の成功が、自国だけでなく、ポリオの再発生のリスクがあるほかの国のクラブと地区への勇気づけとなり、ポリオワクチンと、命を救うその他のワクチンの予防接種の重要性について今後も伝え続けて欲しいと願っています。